

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、22人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

(一)内には、各会派等からの質問申出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	365分
誠友会	5人	225分
公明党	4人	225分
市民連	3人	180分
新政クラブ	1人	90分
無所属	3人	各30分



石口 智志 (60分)
水曜会

全国学力・学習状況の調査結果は

問

①本市の状況と分析結果は。
②小林教育長が就任して1年半が経過した。教育において劇的な変化を期待するのは性急かとも思うが、学力向上に向けた取り組みについての手応えは。

答

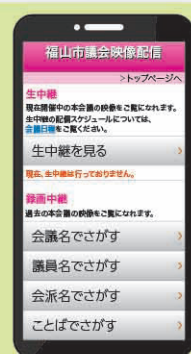
①小学校の国語と理科で全

国平均と同程度となった。その他の教科も全国平均を下回っているものの、その差が各教科1ポイントから3ポイントといずれも改善された。全体では約7割の学校が全国平均を上回るか、全国平均との差が昨年度より縮小している。
②昨年度、教育委員会では学力向上の意識醸成に向けた研修を実施した。各学校においても、児童生徒の学力の状況を分析し、必要な問題演習を実施するなど、取り組みを進めた。引き続き、危機感を持って、学力の向上、定着に向けて取り組んでいく。

インターネットでの視聴も便利です。

各議員記事のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると一般質問の録画が視聴できます。

インターネットの福山市議会映像配信では生中継の配信も行っていますので、次回12月定例会開催時にはぜひご活用ください。



橋高 行格 (60分)
水曜会

上下水道施設の強靱化は

問

地震などの自然災害や管路の老朽化による施設の破損は、断水や道路陥没などにつながり市民生活に深刻な影響を与えかねない。施設の強靱化に向けた考えは。

答

老朽化対策では、水道施設更新耐震化計画や公共下水道ス



木村 素子 (65分)
水曜会

駅周辺の再生は

問

①福山駅前広場市民対話集会の内容は。
②ふくまちヒロバラボの実施内容は。
③基本計画の取りまとめのスケジュールは。

答

①オンラインを含めて22人に参加をいただき、駅前広場

の活用や公共交通の利便性の確保などについて意見をいただいた。また、対話集会後のアンケートでは駅前広場を再整備することに理解、共感をいただけない方が一定数おられることも把握できた。
②対話集会で意見を十分に聞けなかった若者や女性の視点を計画に反映するために開催する。
③さまざまな団体との意見交換を行い、11月に開催予定の広場協議会で新たな計画案を示すことを考えている。市民の皆さまの意見も聞きながら、年度内に基本計画を取りまとめしていく。

トクマネジメント計画に基づく施設の更新とAIを活用した水道管路の劣化予測など新たな技術を活用した維持管理にも取り組む。
耐震化対策では、最重要施設である浄水施設や配水池、避難所などの重要施設に接続する上下水道管路について、30年後までに耐震化の完了をめざす。特に、耐震化率が50パーセントに満たない浄水施設については、早期に整備を進めていく。



※ふくまちヒロバラボ：福山駅前広場の再整備に向けて、これまで議論への参加が少なかった若者や女性から、将来の駅前広場に関する意見を聞くための場。